データ入稿仕様書（本文印刷用①画像ソフト）

※データ入稿時は、必ずデータ入稿仕様書及び出力見本を添付してください。

お　名　前		連　絡　先 ※特急印刷の場合は電話連絡が必須です	
タ イ ト ル		本のサイズ	☐B5　☐A5　☐A4 ☐その他［　　］
本文の印刷	（表紙込み）　　ページ　　紙替・色替／☐なし　☐あり		
使　用 O S	☐Windows ◯7　◯8　◯10［　　］ ☐Mac　　ver.［　　］	カラーモード	☐CMYK　☐RGB ☐グレースケール　☐モノクロ２階調
使用ソフト	☐Photoshop（ver.　　）　☐Illustrator（ver.　　）　☐InDesign　（ver.　　） ☐CLIP STUDIO（ver.　　）　☐ComicStudio（ver.　　）　☐その他（　　）		
使用ファイル名	※リンクファイル等がある場合は出力ファイル名をご記入ください	使用ソフトの混　在	☐あり　☐なし　※２種類以上の異なるソフトの混在は追加料金がかかります
解　像　度	dpi	推奨値 カラー	350 ～ 400dpi
		グレースケール	600dpi
		モノクロ２階調	600dpiまたは1200dpi　※オンデマンド印刷では600dpiとしてください
備　　考	（データに関する連絡事項など何かありましたらご記入ください）		

データチェックリスト

			了承	相談
入稿時のご注意		・出力見本が必要です。モノクロ、縮小でも構いません。見本は必ず最終の入稿データから作成してください。出力見本がない場合、データ再現についての責任は負いかねます。	☐	☐
		・ファイル名は半角英数＋拡張子としてください（ファイル名に記号やスペースは使用しないでください）。	☐	☐
		・データは本の仕上がり実寸で作成してください。 またタチキリ分として、画像は仕上がり位置より天地左右３㎜外側まで必要です。	☐	☐
		・データの入れ忘れや不足、メディアの破損などがないか、入稿データをもう一度開いてご確認ください。	☐	☐
本文原稿のご注意		・Photoshop、Illustratorほか画像ソフトではページごとにファイルを作成し、ノンブルと同じファイル名にしてください。（例：ex_03.eps，ex_04.eps…）	☐	☐
		・印刷範囲内に必ずノンブルを入れてください。ノンブルがない場合、乱丁落丁の原因となります。 （どうしてもノンブルを出したくない場合、製本時に隠れるノド側の仕上がり内ギリギリに5～8pt程度で入れてください）	☐	☐
		・発行物の責任の所在を明確にする為、必ず奥付に発行者様の連絡先と印刷所名を記載してください。 （印刷所名の表記は、「PICO」「プリンティングイン株式会社」のいずれも可）	☐	☐
		・見開きは2ページつながった状態でなく、1ページずつで入稿してください。	☐	☐
		・切れては困る画像・文字は、仕上がり線より３㎜程度内側に配置してください。ノド側は、いっぱいまで文字を入れると、綴じシロに入って読みづらくなりますのでご注意ください。	☐	☐
印刷についてのご注意		・グレースケール画像の場合、階調を再現できる濃度は5%～90%程度となります。	☐	☐
		・1ピクセルの点で構成された画像は印刷で飛び・つぶれを起こします。ご注意ください。	☐	☐
		・デジタルトーンを拡大・縮小したり、トーンのドット（網点）の回りにボケ（アンチエイリアス）が発生している原稿、網点が真っ黒でなくグレーの着色やぼかしを行っている画像、**スクリーントーンをスキャンした**原稿では、出力上モアレが発生する場合があります。	☐	☐
※使用したソフトについてご記入ください	☐Photoshop 他 画像ソフトの場合	・保存形式はPSD、EPS、TIFFが標準です。	☐	☐
		・解像度は適切ですか？（カラー原稿：350dpi／モノクロ原稿：グレースケール600dpi、2階調600または1200dpi）	☐	☐
		・必ずレイヤーを統合してください。アルファチャンネル及び不要なパスは削除してください。	☐	☐
		・画像は書類の中心に配置してください。PICOトンボをご利用の場合はトンボの位置を動かさないでください。 （自動面付ソフトより出力するため、画像が中心に入っていないと、ずれたまま出力・印刷されてしまいます。）	☐	☐
	☐Illustrator の場合	・フォントは必ずすべてアウトライン化してください。	☐	☐
		・配置画像データもIllustratorファイルと同じフォルダに入れて一緒に入稿してください。 なお、埋め込みされている配置画像は修正できません。	☐	☐
		・トンボが必要です。トンボは「トリムマーク」で作成、またはPICOトンボを使用してください。	☐	☐
		・保存形式は作成されたバージョンで行ってください。	☐	☐
		・透明機能を使用する場合、適切なラスタライズ設定をしてください。 （通常は、ドキュメント設定の透明：ベクトル100%／ドキュメントのラスタライズ効果設定：高解像度）	☐	☐
	☐InDesign の場合	※InDesignでのご入稿は、安全な出力のためになるべくPDFデータを書き出してのご入稿を推奨致します。		
		・Inddデータ入稿の場合、当社にあるフォント以外をご使用のデータは受付できません。 （当社に無いフォントを使用したい場合、フォントを埋め込んだPDFを作成してご入稿いただければ使用可能です）	☐	☐
		・リンク画像等をすべてフォルダに収集してご入稿ください。 InDesignやIllustratorCC以降の：「パッケージ」の機能で出力ファイルを1つのフォルダに集められます。	☐	☐